

ようご



QRコードを読み込むと岩手県学校保健会養護教諭部会 HP (<http://www2.iwate-ed.jp/yougo/>) につながります。

発行 岩手県学校保健会
養護教諭部会
編集 広報部
平成29年9月30日
<http://www2.iwate-ed.jp/yougo/>



あいさつ

会長 菊地 玲子

会員の皆様におかれましては、日頃より当会の活動に対し、御理解と御支援と御協力をいただき誠にありがとうございます。

去る5月29日に開催されました定期代議員総会において、昨年度の事業報告及び決算報告並びに今年度の事業計画及び予算並びに役員を御承認いただきました。役員一同微力ではありますが、皆様方の職務の充実と発展のため、本会の円滑な運営に努めていきたいと考えております。

御存じのこととは思いますが、社会環境の急激な変化により、児童生徒の健康課題は複雑かつ多様化してきています。これらの健康課題解決に向けて、養護教

諭への大きな期待が寄せられています。今こそ、自信をもって児童・生徒に真摯に向き合うことが大切だと考えています。

11月22日には第41回岩手県養護教諭研究大会が盛岡市で開催されます。静岡大学教育学部教授 鎌塚優子氏をお招きし「なぜ人は惹きつけられそして動くのか—チーム学校における新たな養護実践の創造—」と題した講演をいただくほか、3班に分かれての班別協議も行います。より多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。

この9月で、東日本大震災から6年6か月を迎えようとしています。被災地では日常を取戻しつつありますが、まだまだ児童・生徒や保護者に寄り添い、養護教諭としてのその役割を十二分に果たすことが期待されています。

今後も引き続き、当部会の取組につきまして、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

《東日本大震災支援対策委員会より》

岩手県学校保健会養護教諭部会

東日本大震災支援対策委員長

石橋 寿子

本委員会は発足して7年目となりました。会員の皆様には、運営に御協力いただき感謝申し上げます。

さて、本委員会では、会員の皆様から『会員の声』を募る活動を行い、学校の状況・子供たちの状況・保健室の様子等について伺っております。

昨年度いただいた『会員の声』で、困っている内容として多く挙げられたのは、「児童生徒の心身のケアの必要性を感じる」「知識やスキルの不安がある」「児童生徒の身体面の保健指導の必要性を感じる」の項目でした。

「児童生徒の心身のケアの必要性を感じる」は、3年連続で最も多く挙げられており、「知識やスキルの不安がある」と「児童生徒の身体面の保健指導の必要性を感じる」は、前年度と比べて多く挙げられた項目でした。

また、「震災に対する意識が薄れているように感じる。忘れないように子供たちへ伝えていく努力をしたい。」というご意見もいただきました。

今年度もいただいた情報を元に活動を進めて参ります。

研修会開催は、4回目の取組となりました。今年度は盛岡地区で開催し、沿岸から内陸に転入している子供たちのケアについて、研修したいと考えております。校種にとらわれずに交流できる場となるよう計画を進めているところです。

昨年度も、日本各地で災害が起きており、改めて、各地域・各学校の状況に応じた災害への備えが大切であると感じております。平成25年2月岩手県学校保健会養護教諭部会より発行された「2011.3.11明日へ つなぐ とき いのち ころ〜東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集〜」は、日頃から備えておきたい物品等が具体的に紹介されておりますので、積極的な活用をしていただきたいと思います。願っております。

今後とも、本委員会の活動に御理解をいただき御協力を賜りますようお願い申し上げます。

定期代議員総会

5月29日(月)、いわて県民情報交流センターにおいて定期代議員総会が開催されました。来賓として、岩手県教育委員会事務局保健体育課総括課長 荒木田光孝様、同じく指導主事 高橋雅恵様に御臨席を賜りました。

谷村純子会長は挨拶の中で、今年度から岩手県総合教育センターに養護教諭の研修指導主事が不在となったことについて、「今後ますます養護教諭への期待が高まる中、研修の重要性について教育委員会事務局に御相談しながら進めて行きたい。」と述べられました。また、県内唯一の養成機関である岩手県立大学との連携を図ることで研修の機会を確保する一方、積極的に研修会に参加するという、私たち一人ひとりの姿勢が大切であることも述べられました。

保健体育課総括課長からは、岩手県教育委員会の組織再編により、保健体育課が安全を含めた健康の保持増進の内容を担当していることが紹介され、「引き続き、皆様とともに子供の健康課題に取り組むとともに、

知・徳・体の総合的な能力を育て、社会に適応できる人間形成を目指してまいります。」と述べられました。また、『学校環境衛生・薬事衛生研究協議会』の全国大会が今年10月に本県で開催されるにあたり、「保健管理及び保健教育の充実を目的とした大会であり、皆様の専門性がさらに高められる研修の場であると考えております。」と、参加を呼びかけられました。

議事は、議長の高橋誠子先生(岩手町地区理事)と高橋久美子先生(紫波町地区理事)により進められました。協議では、東日本大震災支援対策委員会の活動期間(～30年度)や、来年度以降の総合教育センター研修講座内容の希望について等が話題となりました。その他、協議事項については、総会資料を御覧ください。
(事務局員 上澤 裕子)

—平成29年度事務局新役員—



演題「学校保健の現状と課題」

講師 岩手県教育委員会事務局保健体育課

指導主事 高橋 雅恵氏

1 児童生徒等の健康診断

- (1) 運動器検診…「脊柱側弯」の早期発見・対応に有効な検査であり、上肢や下肢の硬縮による経過観察の児童生徒には適切な事後処置を行う。(「やってみよう!しゃがみこみ」県教委HP掲載)
- (2) 色覚検査…学校医による健康相談に位置付け、保護者の同意を得て個別に検査・指導を行うほか、色使いの配慮等職員への共通理解が必要である。
- (3) 成長曲線…低身長の4分の1は治療が必要な疾病であり、早期発見・早期治療に繋げるために積極的に活用する。

2 学校で予防すべき感染症

- (1) デング熱等地球温暖化や海外交流増加で今までにない病気が発生する可能性がある。動向を見守ること。
- (2) 麻疹…感染力が強く1人でも疑いでも関係機関に報告義務があり、職員にも共通理解が必要である。
- (3) 出席停止…出席停止は地域での蔓延を防ぐためでもあることを保護者に説明する必要がある。また、「その他の感染症」は主治医の意見と地域の流行状況により出席停止にするかどうかを判断するものである。

3 アレルギー疾患対応

どの子どもどの学校でも起こりうる。発生時の対応のほか、発達段階を考慮しながらアレルギーを持つ児童生徒自身、自立的管理ができるよう指導が必要である。

4 性に関する指導

エイズや妊娠適齢期の知識不足、LGBT等課題が多い。保健室では、いつでも相談できる窓口として健康相談を大切にしてほしい。正しい知識、行動選択、意志決定、自他の尊重、心の育成と、共通理解や発達段階の指導内容、保護者・地域の理解は健康教育のポイントとして押さえておく必要がある。

5 薬物乱用防止教育

薬物は都市部の問題ではない。地方でも中高生が検挙され、覚醒剤や大麻が身近になってきている。国において、外部の有識者を活用した薬物乱用防止教育を年1回開催することを位置付けている。

6 学校におけるがんの教育

がんに関する医療費は負担が大きく国の課題の1つ。文科省HPや交流ネット、配付教材を活用し、現在学校で行っている健康教育に絡めて進めてほしい。

7 岩手県の健康課題(肥満)

H28学校保健統計調査では高校生男子が全国1位で、肥満が多い現状である。運動習慣以外の身体活動(掃除・手伝い・階段利用等)を増やし、間食の摂り方を改善する等生活習慣の変容が必要。また、県では小学校低学年の軽度肥満にポイントをあて「岩手型肥満解消ぺっこアプローチ」を作成した。これまで効果があった取組とともに県教委HPに掲載しているのぜひ活用してほしい。



第50回 東北学校保健大会に参加して

釜石市立甲子小学校

関 向 真 優

平成29年8月9日(水)・10日(木) 秋田県秋田市

【1】記念講演

◇いのちの授業～がん教育を「いのち」学ぶ場に

NPO法人いのちをバトンタッチする会 代表 鈴木 中人
鈴木さんはご自身の娘さんの小児がんの発病をきっかけに小児がんの支援活動やいのちの授業に取り組むようになり、現在はいのちのバトンタッチをテーマに、いのちの輝き、家族の絆、生きる幸せ・働く喜び、良き医療などを全国に発信しています。

講演の中で鈴木さんは、いのちはかけがえがなく、1人のいのちは多くの人から支えられ愛されているということを強く訴えており、娘の死から感じた生き抜くことの大切さを直接心に訴えかけるメッセージがとても胸に響きました。がん教育が本格化し始めている今日、小児がんの教育を通じていのちの大切さを学校現場でも広く伝えていくことが大切ということを学びました。

【2】第3分科会（性に関する指導）

◇町ぐるみで展開する性に関する指導のあり方～思春期保健事業・新設教科「地域創造学」を目指した「いのちの学習」研究部会の実践から～

岩手県住田町立世田米中学校副校長 高橋 弘寿
住田町で推進してきた思春期保健事業（乳児ふれあい体験・思春期健康教育等）を学校で取り込んだことにより、性に対する正しい理解はもちろんのこと、

と、生き方や人間関係、キャリア教育など、東日本大震災から岩手県が推進する「いわての復興教育」も位置づけながら視野を広げた教育を実践していました。

◇生命を尊重し、生涯を通じて健康な生活を営む力を育むために～性に関する指導を通して 自他を尊重する子どもを育てる～

秋田県潟上市立飯田川小学校養護教諭 佐々木花菜子
保健の授業の前に保護者アンケートを実施し、その意見を取り入れて授業実践を行っていました。日々の保健室での対応の中で捉えた子供たちの性の実態・課題を踏まえて子供たちに付けたい力・育てたい力を「性に関する指導」につなげ、性の実態・課題に沿った授業構成をしていました。

◇グループ協議

助言の先生（秋田赤十字病院 検査医師 平野 秀人先生）から、近年学校教育の中の性教育で扱うテーマは余りにも多く、教師や医師など関係職種が時間をかけて係わる必要があること、そのためにはあらゆる性行動を選択する状況において自分自身で決定し、責任を持つ能力を養うために役立つ包括的性教育が有効であるというお話がありました。



「実践研究に関する研修」にかかる調査結果【速報（一部）】

本部会では、平成20年度より「実践研究に関する研修会」を実施し10年目を迎えます。

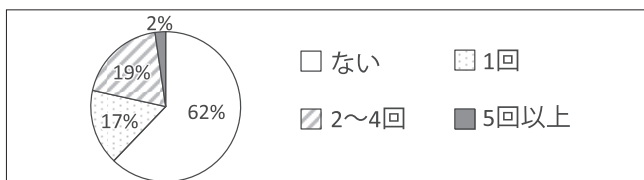
そこでこの事業をより充実させるために、会員の皆様を対象にアンケート調査を実施いたしました。その結果について一部速報として報告いたします。

この調査にご協力いただき誠にありがとうございました。（文責 猪又和歌子）

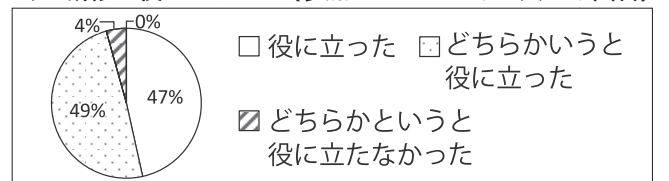
<アンケート概要>

対象：県養護教諭部会全会員（633人）
アンケート方法：S Q S方式の自記式、各地区理事による配布及び回収
回答数：613人

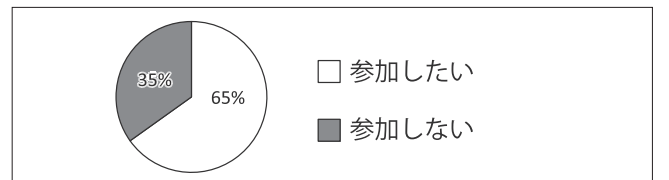
Q これまでの実践研究に関する研修会の参加状況について



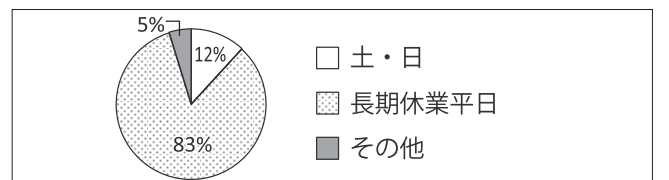
Q 研修は役に立ったか（参加したことのある人のみ回答）



Q 今後実践研究に関する研修会に参加したいか



Q 開催日はいつがよいか（参加したい方のみ回答）



全国養護教諭 連絡協議会

平成29年度 総会及び第19回学校保健連絡協議会

6月17日(土)、東京都ヒューリックホールにおいて、平成29年度全国養護教諭連絡協議会総会、並びに第19回学校保健連絡協議会が開催されました。

午前の学校保健連絡協議会では「生きる力を育む学校安全の推進」と題し、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 吉門直子安全教育調査官の講演がありました。毎年、全国各地で、かつては地震や風水害がない地域でさえ自然災害が発生していること、自然災害が多い日本で暮らすための「生き方」を教える安全教育が重要であることを話されました。午後には、

総会と各ブロック別協議会が行われ、総会では、村井伸子会長をはじめとする新役員が承認され、木嶋晴代前会長から「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援【概要版】～養護教諭の役割を中心として～」を活用してほしい旨話されました。

最後に、全国養護教諭連絡協議会中村道子初代会長から、本会設立時の目的や唯一の職能団体として認知されていることを踏まえ、些細なことも話し合える関係性を大切にしてほしいという挨拶がありました。

(会長 菊地 玲子)

第52回 東北地区養護教諭連絡協議会

8月9日(水)秋田市文化会館において、「第52回東北地区養護教諭連絡協議会」が東北学校保健大会に併せて開催されました。本会は、東北6県と仙台市の養護教諭研究団体が組織され、各県の活動状況や情報を交換しながら諸問題を協議する会です。

初めに昨年度の会務及び決算、本年度の会務及び予算の提案があり承認されました。その後各県の共通の課題について情報交換がされました。その中で、急速な世代交代への取組について、山形県からは支援者を登録し、執務における疑問や悩みを解決できるよう支

援する「養護教諭ステップアップ支援事業」の紹介がありました。他県からは、支部ごとの研修会の開催や、ブロックごとに日常の執務についての情報交換の場を年数回設ける等の取組が紹介されました。また、運動器検診については、判断基準を統一するためにチェック表の点数化や、校医の研修会を開催している県がありました。被災地の子供たちの様子については、保護者の就労や住む場所の変化などにより、子供の貧困や心の問題が、今なお大きな課題となっていることが報告されました。

(副会長 冨手 裕子)

平成29年度の新規採用者29名を紹介いたします

(敬称略)

○小学校	新沼 如子	盛岡市立手代森小学校	田向 桃衣	久慈市立夏井小学校
	佐々木ちはる	盛岡市立好摩小学校	鈴木はつき	久慈市立侍浜小学校
	遠藤香菜子	八幡平市立平館小学校	小泉 尚子	久慈市立宇部小学校
	菊池 春花	岩手町立一方井小学校	岩崎 翔華	洋野町立角浜小学校
	花木 彩歌	滝沢市立鶺鴒小学校	松木 愛里	盛岡市立厨川中学校
	及川 瑠菜	滝沢市立滝沢小学校	玉山亜里砂	盛岡市立上田中学校
	山生 睦	滝沢市立柳沢小学校(中学校兼務)	高橋 花音	雫石町立雫石中学校
	近藤 優妃	紫波町立星山小学校	小野寺綾子	奥州市立水沢南中学校
	国清 紗弥	花巻市立湯本小学校	玉川 真衣	釜石市立唐丹中学校
	小田島夕子	花巻市立太田小学校	和久井慶子	岩手県立大船渡高等学校
	堀内莉沙子	花巻市立八幡小学校	長岡 千咲	岩手県立宮古商業高等学校
	菊池 里美	奥州市立佐倉河小学校	深山 美紅	岩手県立宮古北高等学校
	小澤ちさと	一関市立舞川小学校	田巻 みさ	岩手県立一関清明支援学校本校舎
	菅野 志保	陸前高田市立米崎小学校	佐々木恵子	岩手県立宮古恵風支援学校
	富山めぐみ	久慈市立大川目小学校		
			○中学校	
			○高等学校	
			○支援学校	